



赤穂こどもエコクラブだより

小学4年生から6年生までを対象に、身近な地域での自然学習や社会体験を通して、子どもたちに環境への関心と理解を深めてもらおうと、平成17年度に「赤穂こどもエコクラブ」を創設しました。

令和7年度は14名の会員で発足しました。実験や植物・セミの羽化観察会、市内外の施設見学などフィールドワークを多く実施することができました。エコクラブの活動をとおして、子どもたち一人ひとりが環境について考え、問題解決に向けて、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなりました。



赤穂こどもエコクラブ活動状況（令和7年度）

実施日	活動内容	講師
5月18日（日）	発足式、 第1回学習会 赤穂の環境について	環境課職員
6月15日（日）	第2回学習会 電気とエネルギーについて考えよう、施設 見学	関西電力株式会社 赤穂発電所 社員
8月2日（土）	第3回学習会 セミの羽化観察会	環境課職員
9月21日（日）	第4回学習会 市外施設見学 ①グリコピア神戸 ②兵庫県立人と自然の博物館	生野 賢司 氏 （兵庫県立人と自然の博物館 研究員）
11月30日（日）	第5回学習会 しぜんのタカラモノさがし	大津賀 真紀子 氏 （環境学習プラットフォーム）
1月18日（日）	第6回学習会 水の問題について知って学んで実践しよう！	環境課職員
2月15日（日）	第7回学習会 活動記録づくり	環境課職員
3月15日（日）	発表会・修了式	

赤穂子どもエコクラブ発足式

「どんなことを勉強するのかな？」と、ドキドキ、わくわくしながら参加した発足式。一年間、一生懸命、環境について学習することを誓いました。



第1回学習会「赤穂の環境について」

講師：環境課職員

簡単な実験をとおして雲の発生について知り、赤穂市の昔と今を比較して工場が増えていることや工場の増加によって環境にどんな影響があるのかなどについて学習しました。



第2回学習会「電気とエネルギーについて考えよう、施設見学」

講師：関西電力(株)赤穂発電所 社員

火力発電の仕組みや省エネの方法について、模型に触れながら学習しました。また、みんなで協力しながらクイズに解答し、学習の振り返りをしました。最後には廃材でコースターを工作しました。



第3回学習会「セミの羽化観察会」

講師：環境課職員

赤穂城南緑地公園でセミの羽化観察会を実施しました。セミが羽化するまでの行為や羽化する様子を観察し、成長の過程や生命の神秘さと力強さを学びました。



第4回学習会「市外施設見学」

グリコピア神戸、兵庫県立人と自然の博物館

講師：生野 賢司 氏（兵庫県立人と自然の博物館 研究員）

グリコピア神戸ではお菓子の歴史や製造の秘密について学習しました。また、兵庫県立人と自然の博物館では様々な生物の化石や標本などを観察し、生物の生態などについて学習しました



第5回学習会「しぜんのタカラモノさがし」

講師：大津賀 真紀子 氏（環境学習プラットフォーム）

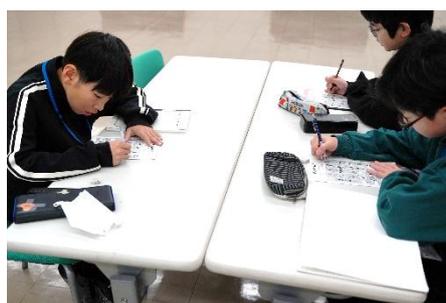
塩屋公園内で耳を使って自然を感じ、次に目、鼻、手を使い、植物をよく観察し、臭いをかいだり、植物に触れたりして五感を使いながら、植物の特徴や種類について学習しました。



第6回学習会「水の問題について知って学んで実践しよう！」

講師：環境課職員

世界の水問題について知り、水問題に対する国内外での取り組みについて学びました。また、限りある水をみんなが意識を持って大切にすることが重要であることを学び、水を大切にすることができることについて、ビンゴゲームをとおして再確認し、楽しく学習しました。



第7回学習会「活動記録づくり」

一年間、赤穂こどもエコクラブで学習したことを模造紙にまとめ、壁新聞を作りました。学習会で学んだことを振り返りながら、グループのみんなで協力し、壁新聞を作ることができました。



セミの羽化新聞

場所
城南緑地公園

日時
8月2日 午後7:30~9:00

観察方法

- ・地面にセミの幼虫が出てきた穴がある場所やセミのぬけがらがたくさんついている木を見つける
- ・木の幹に登る幼虫を見つけて観察する
- ・羽化する場所が決まればセミの羽化が台まるので観察が

セミのひみつ

- ・セミは1週間ほどで死ぬといわれているけど実はこの期間で羽化して生き残ることもありますが...
- ・セミの鳴き声は周波数が約1000Hzと高いので電鈴では聞こえませんが、オスは鳴き声を大きくしてメスにアピールするのはオスだけなんです。

7:50頃
ゆくりと木をのぼっている。途中で急に止まったり、反対にスラスラ進んだりする。

8:20頃
背中あたりをつき破り、頭が出てきた。しばらくすると羽を広げた。

8:40頃
全部が出てきた。葉っぱにつかまっている。風にゆられても落ちず、しっかりつかまっていた。

まとめ・感想
セミの羽化を通して、音程かに多かれわらわけてもなく、自分で生きる生き物の姿に感銘しました。セミの羽化はほとんどの場合、夏の夜に城南緑地公園に行き、セミの羽化を肉眼で観察してみたい。

水の大切さを矢知ろう!! 新聞

地球上のすべての水をよくそう1杯分とするならば、人間や動物が使える水はスプーン1杯分とほぼ同じです。人口が増えれば水の使う量がふえるので2050年には水不足になって人口が減ると思います。

世界で1人を1日に使わない水は約42億人

日本でも1人が1日に使う水道の水の量

- ・約230L
- ・世界で水の使う量は2位

気候変動がおこると...

- ・いよいよな暑さ
- ・大がた台風
- ・集中ごう雨
- ・洪水
- ・干ばつ

まとめ
地球上にある水の中で、人間が使える水はほんのわずかです。水を大切に使うことが大切です。



電気の作り方を矢知ろう新聞

みなさんは世界でよく使われている発電方法を矢知っていますか?

主な発電方法

- ・火力発電
- ・水力発電
- ・原子力発電
- ・風力発電
- ・太陽光発電
- ・地熱発電
- ・バイオマス発電
- ・その他

1位 火力発電
2位 太陽光発電
3位 水力発電

なぜ火力発電よりも他の方法の発電力は劣るのか?
火力発電は天候に左右されることなく、燃料があれば24時間365日必要なだけ安定に大量の電力を供給することができるため

火力発電のデメリットは?
CO₂が発生する⇒温暖化の原因になる

火力発電にも良いところはたくさんあるけれど、将来的には火力発電に頼らない発電方法を考える必要があると思いました。



問い合わせ先
〒678-0292 赤穂市加里屋81番地 赤穂こどもエコクラブ事務局 (赤穂市市民部環境課)
TEL: 0791-43-6821 FAX: 0791-43-6892 E-Mail: kankyo@city.ako.lg.jp